授業科目	臨床栄養管理演習					単位	1
履　　修	選択	関連資格				ナンバリング	NT32601J
開講年次	4	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-2 DP5-1		
担当教員	花田　浩和、西村　貴子						
授業概要	【実務家教員担当科目】 日本の人口の年齢別比率が劇的に変化して迎える「超高齢化社会」は、社会構造や体制が大きな分岐点を迎え、雇用、医療、福祉など、さまざまな分野に影響を与えることが予想される。この 2025 年問題、2040 年問題を視野に入れると、社会保障費の増大、不足が予想されるほか、医療、介護分野の整備や少子化対策が急務となっている。そのため、医療分野では、「医師・医療従事者の働き方改革」として、タスク・シェアリング／タスク・シフティングのためのチーム医療等の推進が求められている。健康寿命の延伸のためにも、管理栄養士に課された役割は大きいと考えられる。 本科目では、臨床（医療・福祉施設）においてチーム医療を推進するための管理栄養士の役割と専門性を再確認する。また、医療従事者として、加齢に伴う身体の変化、身体障がい（視覚・聴覚含む）の食生活・食行動の理解を進め、栄養教育における留意点をまとめる。さらに、2025 年問題、2040 年問題に対して、栄養学（西洋医学）および中国伝統医学（東洋医学）の知識に立脚した薬膳を学び、実践する力を修得する。						
学生が達成すべき行動目標	1. 臨床（医療・介護）における管理栄養士の役割と専門性を理解できる。 2. チーム医療の一員として自立して栄養管理業務をプランできる。 3. 施設間や在宅との連携するための、栄養情報提供書を作成できる。 4. 身体障がい（視覚・聴覚含む）の理解を進め、栄養管理プラン（栄養教育含む）を立案できる。 5. 薬膳について、基本となる考え方を習得する。						

達成度評価

評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	100	0	0	0	100	
知識・理解（DP1-1）								
知識・理解（DP1-2）			20				20	
知識・理解（DP1-3）								
知識・理解（DP1-4）								
思考・判断（DP2-1）			20				20	
思考・判断（DP2-2）								
関心・意欲（DP3-1）			20				20	
関心・意欲（DP3-2）								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)			15				15	
態度（DP4-3）								
技能・表現（DP5-1）			25				25	
技能・表現（DP5-2）								
技能・表現（DP5-3）								

具体的な達成の目安

理想的レベル	標準的なレベル
標準的レベル 1～5 の全てを達成したうえで、知識に関しては、より詳細かつ丁寧に説明できる。また、修得した知識および技術を応用して、本実習のテーマ以外の傷病者への栄養管理方法を提示できる。	1. 臨床（医療・介護）における管理栄養士の役割と専門性を理解できる。 2. チーム医療の一員として自立して栄養管理業務をプランできる。 3. 施設間や在宅との連携するための、栄養情報提供書を作成できる。

		4. 身体障がい（視覚・聴覚含む）の理解を進め、栄養管理プラン（栄養教育含む）を立案できる。 5. 薬膳について、基本となる考え方を習得する。		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ：臨床管理栄養士について （花田浩和） オリエンテーション。超高齢化社会、2025 年問題、2040 年問題と栄養士の社会的役割について解説する 。	講義	予習：2025 年問題、2040 年問題について予習し、まとめる。 復習：臨床における管理栄養士の役割について復習を行う。	30 30
2	テーマ：栄養評価と患者支援 （花田浩和） 栄養アセスメント、栄養関連検査について解説する。	講義・演習	予習：栄養アセスメント、栄養関連検査について予習し、まとめる。 復習：栄養アセスメント、栄養関連検査を復習を行う。	30 30
3	テーマ：栄養指導の実際 （花田浩和） 病態別栄養指導について解説する。薬物療法と食事慮法の役割を解説する。	講義・演習	予習：テーマと症例を予習し、まとめる。 復習：病態別栄養指導、薬物療法と食事慮法について復習を行う。	30 30
4	テーマ：在宅栄養 （外部講師、花田浩和） 在宅訪問栄養と歯科との連携による栄養改善について解説する。	講義・演習	予習：テーマについて予習し、まとめる。 復習：在宅訪問栄養と歯科との連携について復習を行う。	30 30
5	テーマ：在宅栄養の現状と栄養的支援について （花田浩和） 医療施設・介護施設・在宅の連携について解説する。栄養情報提供書の記載を学ぶ。 在宅支援について解説する。	講義・演習	予習：テーマについて予習し、まとめる。 復習：医療施設・介護施設・在宅の連携について復習を行う。	30 30
6	テーマ：栄養指導の実際（症例検討） （花田浩和） 栄養アセスメント、栄養関連検査の評価を行い、栄養価プランについて解説する。	講義・演習	予習：テーマと症例を予習する。 復習：栄養アセスメント、栄養関連検査の評価について復習を行う。	30 30
7	テーマ：栄養指導の実際（症例検討） （花田浩和） 栄養アセスメント、栄養関連検査の評価を行い、栄養価プランについて解説する。	講義・演習	予習：テーマと症例を予習する。 復習：栄養アセスメント、栄養関連検査の評価について復習を行う。	30 30
8	テーマ：身体障がいの理解 1 （西村貴子） 視覚障がい・聴覚障がいを疑似体験し、食事摂取や栄養管理のポイントを解説する。	講義・実習	予習：テーマについて予習する。 復習：障がい別の栄養管理のポイントについて復習を行う。	30 30
9	テーマ：身体障がいの理解 2 （西村貴子） 身体障がいを疑似体験し、食事摂取や栄養管理のポイントを解説する。	講義・演習	予習：テーマについて予習する。 復習：障がい別の栄養管理のポイントについて復習を行う。	30 30
10	テーマ：チーム医療と管理栄養士 （花田浩和） チーム医療における管理栄養士の役割について解説する。	講義・演習	予習：チーム医療について予習する。	30 30

			復習：チーム医療における管理栄養士の役割と在り方について復習を行う。	
11	テーマ：医療現場における管理栄養士の役割 （花田浩和） 栄養管理、チーム医療、食事管理、患者支援などの在り方について解説する。	講義・演習	予習：特別治療食の種類と栄養量を復習する。 復習：栄養管理、チーム医療、食事管理、患者支援について復習を行う。	30 30
12	テーマ：女性のための薬膳1 （外部講師、西村貴子） 薬膳(東洋医学)の基礎を学び、性差医療に着目し、女性の身体に特化した薬膳の考え方について解説する。	講義・演習	予習：テーマについて予習する。 復習：薬膳学の特徴やポイントについて復習を行う。	30 30
13	テーマ：女性のための薬膳2 （外部講師、西村貴子） 薬膳(東洋医学)の基礎となる陰陽・五行学説、気血津液弁証を取り入れた女性のための薬膳について解説する。	講義・演習	予習：テーマについて予習する。 復習：自分自身の体質・体調を確認し、取り入れるべき養生を実践する。	30 30
14	テーマ：薬膳の基本3 （外部講師、西村貴子） 薬膳（東洋医学）の基礎を学び、生理周期と薬膳ついて解説する。	講義・演習	予習：テーマについて予習する。 復習：自分自身の生理周期を確認し、取り入れるべき養生を実践する。	30 30
15	テーマ：臨床管理栄養士について2 （花田浩和） まとめをおこなう。	講義	予習：臨床現場における管理栄養士の役割を予習し、まとめる。 復習：臨床現場における管理栄養士について復習を行う。	30 30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

理解に必要な予備知識や技能	これまで 3 年間学んできた基礎分野や専門分野の科目、全てを総合的に活用する科目である。すべての科目に関しての理解が求められる。
テキスト	吉田勉監修:「わかりやすい臨床栄養学(第 6 版)」(三共出版) 奈良信雄著:「看護・栄養指導のための臨床検査ハンドブック」(医歯薬出版) 日本糖尿病学会編:「糖尿病食事療法のための食品交換表(第 7 版)」(文光堂) 黒川清監修:「腎臓病食品交換表(第 9 版)」(医歯薬出版)
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要な資料は、適宜配布する。
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	臨床の現場では、様々な傷病者と課題を解決していくための対応力が求められるため、高齢者や傷病者の理解を深める必要があります。そのため、東洋医学、西洋医学問わず、体に取り入れる物質の様々な知識を獲得し、どのようにしたら合理的かつ包括的な栄養管理計画を立案できるか、課題解決するスキルを修得していきましょう。
達成度評価に関するコメント	レポート提出の詳細については、各テーマを担当する教員より説明する。